
第11回 ワークショップコレクション

出展ワークショップ募集要項

2015.4.13 改訂版 「応募締切が 5 月 7 日 (木) 15:00 に変更となりました」

目次	1 開催趣旨／目次	02
	2 実施概要	03
	3 応募要項	05
	4 出展料について	06
	5 出展スペースについて	08
	6 材料費徴収について	10
	7 ワークショップ運営に関する基本ルール	11
	8 出展スペース利用に関する基本ルール	13
	9 応募手続きについて	15
	10 審査について	18
	11 スケジュールについて	19
	12 これまでの開催実績	20
	13 主催団体について	21

<http://wsc.or.jp>

ワークショップコレクション運営事務局

E-Mail : info-wsc@canvas.ws

Tel : 03-6802-7984 (平日 10:00 ~ 18:00)

Fax : 03-6802-7986

開催趣旨

近年、こどもの新たな学びと創造の場として「ワークショップ」が注目されています。日本においても、こどもたちの創造力・表現力を刺激する、優れたワークショップ・プログラムが全国各地で実施されており、それらは独自の発展をとげてきました。ワークショップコレクションは、このようなこども向けワークショップ・プログラムの全国普及と発展を目的に、全国に点在するこども向け「ワークショップ」を一同に集め、一般へ広く紹介する博覧会イベントです。ワークショップコレクションは、こども向け「ワークショップ」の“祭典”として、全国各地でこども向けワークショップを実施している方々の発表／交流の場所となり、それらワークショップを体験するこどもたちの集まる場所となります。

今回の特色

シブヤ全域を舞台に広がるワークショップコレクション。

メイン会場はなんと取り壊し予定のオフィスビル！

こどもたちがシブヤをぬりかえる2日間！

第11回目のワークショップコレクションは、東京・渋谷を舞台に、新たな取り組みを行います。メイン会場は、取り壊しが決定している区内のオフィスビル。そのオフィスビルを2棟利用し開催いたします。会場内の壁・窓・床・天井など空間全体がこどもたちに開放され、様々なワークショップ・プログラムが繰り広げられます。また同時に「シブヤ」全域にサテライト会場が設置され、エリア全体に大きく広がりをみせていきます。

2020年、そしてさらにその先の未来に向けて日々変化を遂げ、新たな魅力を示し続けるシブヤ全域が、2日間だけの「こどものための創作の場」にヘンシンします。

<メイン会場>

●新南平台東急ビル

(東京都渋谷区道玄坂 1-21-2)



●渋谷 TOD ビル

(東京都渋谷区道玄坂 1-21-14)



★取り壊し前ビルの壁、窓、床、天井などを活用したダイナミックなワークショッププログラム也大募集！

〔名 称〕 ワークショップコレクション 11 in シブヤ

〔会 期〕 2015 年 8 月 29 日（土）11:00-17:00 * 開始時間が変更になる場合がございます。
8 月 30 日（日）10:00-17:00
* 設営：2015 年 8 月 28 日（金）午後および 8 月 29 日（土）朝（予定）
* 撤収：2015 年 8 月 30 日（日）イベント終了後

〔会 場〕 メイン会場 （1）新南平台東急ビル（東京都渋谷区道玄坂 1-21-2）
（2）渋谷 TOD ビル（東京都渋谷区道玄坂 1-21-14）
* 東急不動産株式会社等所有ビル

〔主 催〕 NPO 法人 CANVAS

〔協 賛〕 東急グループ

〔後 援〕 文部科学省 総務省 経済産業省 内閣府
東京都教育委員会 渋谷区教育委員会（全て予定）

〔見込来場者数〕 <メイン会場>約 40,000 人 * 前回 57,000 人来場（2 日間）
* 渋谷地区のサテライト会場を含めた来場者見込み 約 100,000 人

〔出展数〕 メイン会場 約 60～70 ワークショップ（予定）

〔入場料〕 無料 * 一部ワークショップでは材料費徴収あり

〔対象者〕 ① こども向けワークショップの開催に関心のある方
教育関係者、行政関係者、大学関係者、ミュージアム関係者、企業関係者、
アーティスト、ファシリテーター、各種 NPO 法人・団体、各分野の専門家など

② ワークショップに参加希望の方
こども（未就学児～中学生）及びその保護者

〔公式サイト〕 <http://wsc.or.jp>

〔事務局〕 ワークショップコレクション運営事務局（NPO 法人 CANVAS 内）
E-Mail：info-wsc@canvas.ws
Tel：03-6802-7984（平日 10:00～18:00） Fax：03-6802-7986

「第11回ワークショップコレクション」開催に合わせて、「第6回キッズワークショップアワード」を実施いたします。

〔趣 旨〕 近年、こどもの新たな学びと創造の場として注目されるワークショップ。「キッズワークショップアワード（以下、KWA）」は、これらこども向けワークショップの普及・発展を目的に、こどもたちの創造力・表現力を刺激する、独自性のある優れたワークショップを選出し、表彰するものです。前回に引き続き「第6回 KWA」も「ワークショップコレクション 11 in シブヤ」への参加ワークショップを対象に実施いたします。

〔対 象〕 「第11回ワークショップコレクション」に出展するワークショッププログラムを対象とします。ワークショップのジャンルや、企業、団体あるいは個人、グループなど実施者は問いません。

〔審査基準〕

1. 創造性：こどもたちの創造力や表現力を強く刺激する
2. 時代性：これからの時代にこどもたちが必要な力や視点を養う
3. 独自性：これまでにない新しいアイデアが取り入れられている

〔審査方法〕

1. 審査員による審査（当日プログラム見学）
2. 当日参加者・来場者による審査（投票）

〔審査員〕 * 後日発表

ご参考：第5回キッズワークショップアワード結果



	ワークショップ名	実施者
最優秀賞	夏の終わりの妖怪たち ～百鬼夜行絵巻作り～	kodomox ピスタチオ
優秀賞	くるま育研究所 ～みんなでクルマをつくってみよう！～	トヨタ自動車株式会社 くるま育研究所 xFuture Catalysts
	国境なき医師団になって病院をつくろう！	国境なき医師団 日本
	不思議なスケッチブック	愛知工業大学 近藤菜々子・水野慎士
審査員特別賞	さがしてみつけて考えて、まちカード観察。 まちカードばとる！！	梅宮良輔・在間夢乃／明石工業高等専門学校 水島あかね研究室
	PEG	PEG プースメンバー
	AR 動画カードで 4コマ動画をつくろう！	NHK クリエイティブ・ライブラリー
来場者投票賞	羊毛でつくってみよう ハッピーハムスター	酒井博美 (羊毛フェルトクリエイター)

応募資格

応募者について、特に規定はございません。個人／団体問わず、応募頂けます。また、応募者はワークショップの運営者・実施者とします。運営・実施者が複数関与する場合は、連名で応募することも可能です。

* 過去の出展者／ワークショップの内容及び出展者はホームページでご確認頂けます。

URL: <http://www.wsc.or.jp>

募集ワークショップ

下記条件に合致するワークショップを募集いたします。

また、取り壊し前ビルの特性を生かしたダイナミックなワークショップも実施可能です。
(壁、窓、床、天井を効果的に利活用するもの等／内容要調整)

1. こどもたちにとっての、創造の場、表現の場であること

参加したこどもたちの、創造力・表現力が刺激される、独自性・新規性の高いワークショップを募集します。デザイン、イラストレーション、CG、造形工作、電子工作、音楽制作・映像制作、コミュニケーションデザイン、ゲームなどデジタル／アナログ問わず、あらゆる分野を募集対象とします。過去の実施実績の有無は問いません。

* 過去、本イベントに出展されたワークショッププログラムのご応募も可能ですが、できるだけ最新内容のワークショッププログラムをご提示ください。

2. 短い実施時間で、多くのこどもたちが参加できること

イベント当日は大勢の来場者がワークショップに参加されます。

できるだけ多くのこどもたちに、できるだけ多くのワークショップに参加してもらいたい、というイベント趣旨をご理解いただき、ワークショップの実施時間は**30分以内**とし、当日実施にあたり、厳守いただきます。できるだけ多くのこどもたちが参加できるようなワークショップ・プログラムをご計画ください。

* 随時受付に近い参加形式で実施できるワークショップ、または途中参加可能なワークショップを歓迎いたします。

* ワorkshop運営の詳細ルールは第7項(P11)に記載しています。

3. 事前準備から当日の実施・運営まで、責任をもって行えること

運営事務局は出展者の皆様にワークショップ活動のための「場」を提供します。ワークショップ出展にかかる事前準備、設営から当日の実施・運営まで、出展者の皆様ご自身の資源（人的、金銭的等）の範囲内で、責任をもって実現できるワークショップを募集します。

審査について

応募後、審査員による選考を行います。審査の詳細については第10項(P18)をご覧ください。

出展料について

出展料：25 万円（税別）

ワークショップ出展（イベント参加）にあたり「出展料」が必要となります。応募・審査選考を経て、正式にワークショップコレクションへ出展が決定した応募者は、イベントへご参加頂く前に、運営事務局へ出展料をお支払いいただきます（ワークショップ応募自体は無料です）。

* 会場の特性、およびテーブル、イスなど付帯備品を料金に含まないことを鑑み、出展料を値下げいたしました。（前回：税別 35 万円）

* 取り壊し前ビルの特性上、ブース内外における若干の会場汚れや、会場フロア外には一部の残置物（大型ロッカー等）がございます。予めご了承をお願いいたします。

（会場全フロアにおいて事務局が清掃業者と連携し事前クリーニング実施 / 会場設備面の安全対策も実施）

【出展料に含まれるもの】

- ・ワークショップ出展スペース提供（約 25㎡）
- ・電源提供（2 口、最大 1200W ）

【出展料に含まれないもの】

- ・ワークショップ実施にかかる一切の費用（運営費、材料費、ブース装飾費等）
- ・ワークショップ基本設備（テーブル、イス、パーティション）
- ・インターネット環境

* 今回イベントでは会場の特性上、テーブル、イス、パーティション、およびインターネット環境のご提供はございません。

事務局が指定のレンタル備品を代行手配し、準備いたします。別途レンタル費用がかかります。

出展料減額申請について

原則として、ワークショップご出展が決定した皆様には上記の出展料をお支払いいただきますが、ワークショップ内容の審査と合わせて審査員による出展料減額の検討を行います。審査に通った場合のみ減額が認められます。出展料減額申請にあたっては、応募時に「出展料減額申請」を行ってください。
申請方法につきましては、P16「その他ご提出物」をご参照ください。

【対象応募者と金額】

- 国公立の機関／教育機関／NPO 団体
- 個人

出展料：3.5 万円（税別）

出展料：2 万円（税別）

出展料支払い時期

7 月初旬～中旬にかけて事務局よりご請求書を発送いたします。

8 月 10 日（月）までにお支払いをお済ませください。

共同出展の際の注意事項

2 人以上が共同で 1 つのワークショップを出展する場合、WEB、フライヤー、館内マップなどに掲出する「出展者名」の表記に応じて出展料、およびブース内で設置可能な広報物が異なります。

「出展者名」を 2 者以上の連名とする場合、

ーその名称数ごとに出展料がかかります。

ーブース内に設置可能な広報物は、連名で表記されている出展者の活動に関するものに限ります。

* 連名表記にない協賛社、関係者の活動に関するものは設置いただけません。

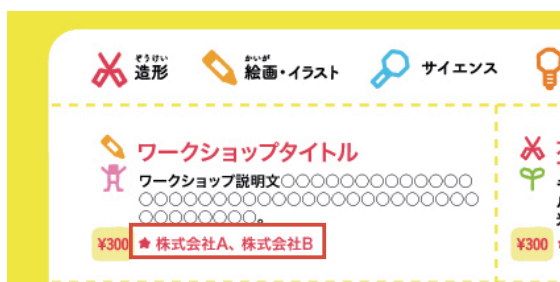
事例 1

出展者名が企業 A、企業 B の 2 者連名の場合

●出展料 ⇒ 25 万円 (企業出展料) + 25 万円 (企業出展料) = 50 万円

●設置可能な広報物

⇒ 企業 A 及び企業 B の活動に関する広報物 (出展者表記にない協賛社・関係者の広報物は不可)



* 昨年フライヤーでの出展者名表記例

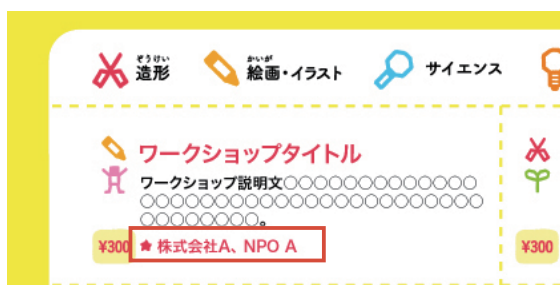
事例 2

出展者名が企業 A、NPO 団体 A の 2 者連名の場合

●出展料 ⇒ 25 万円 (企業出展料) + 3,5 万円 (NPO 団体出展料) = 28.5 万円

●設置可能な広報物

⇒ 企業 A 及び NPO 団体 A に関する広報物 (出展者表記にない協賛社・関係者の広報物は不可)



* 昨年フライヤーでの出展者名表記例

出展スペース

出展スペース：約 25㎡

● ビル内の「オフィススペース」（机、イスなど全て撤去済みの平場）がワークショップ出展スペースとなります。1 出展者あたり約 25㎡のスペースを確保いたします。原則として、個室はございません。

● 同一部屋内に複数個のワークショップが併設されます。他のワークショップの実施の妨げにならないよう、最大限の配慮をお願いいたします。

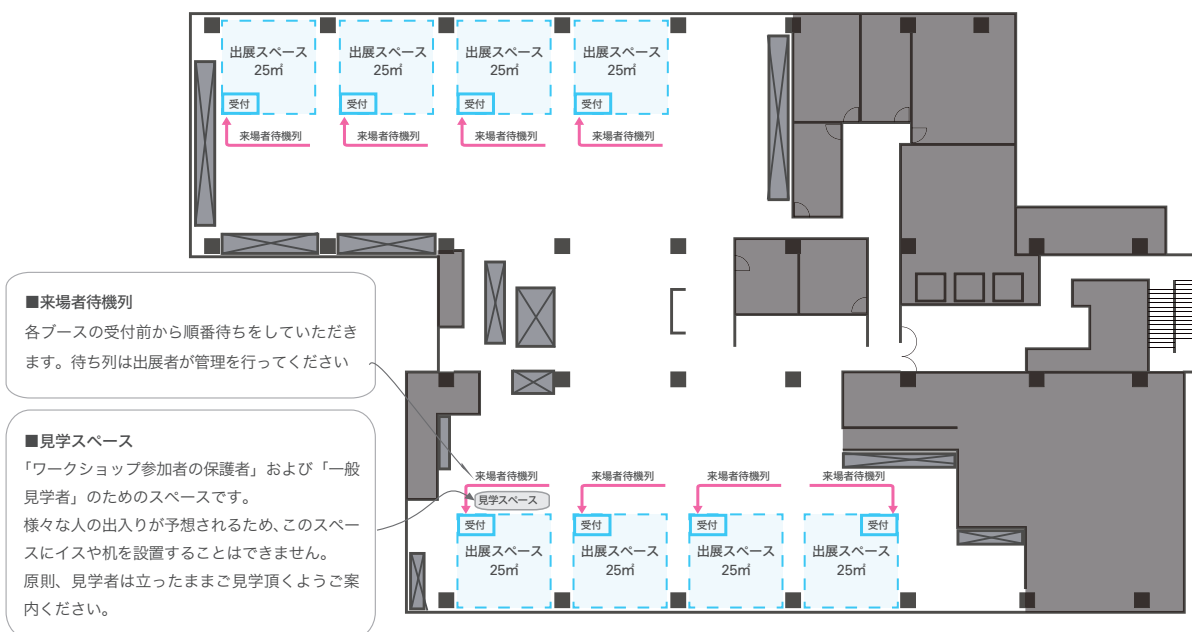
● 会場全体のワークショップ・レイアウトはイベント運営事務局にて決定させていただきます。

* 会場がオフィスビルであるため、ブース位置によって、壁や窓の有無といった施設条件が異なります。

* 出展スペースと出展スペースの間には「仕切り（パーティション）」はございません。「仕切り（パーティション）」をご利用の場合は有料でのレンタルとなります。

* 出展スペース範囲内でのワークショップ実施及び、搬入された荷物の保管をご計画ください。

【ブース配置イメージ（仮）】



* 昨年の会場の様子



壁・床・窓・天井などを
利活用したワークショップ企画を
大募集しています！

レンタル備品について

ワークショップ出展料には付帯設備である〔机、イス、パーテーション〕は含まれておりませんのでご注意ください。

下記のとおり、オプションメニューをご用意いたしましたので、ご利用予定の出展者の方は、ご検討ください。レンタル備品の申込み受付は 7 月を予定しております。

* 画像はイメージになります。

* 色や仕様などは予告なく変更の可能性がございます

* 予定価格のため、変更の可能性がございます

オプション 1

● 椅子

サイズ： W405×D468×H690

金額： 650 円／ 1 脚



オプション 2

● 机

サイズ： W1800×D600×H700mm

金額： 1600 円／ 1 脚



オプション 3

● バンティアンパネル

サイズ： W900×H1800mm

金額： 6000 円／ 1 枚



参加者からの材料費徴収

「ワークショップコレクション」は、こども向けワークショップの全国普及と発展を目的とし「できるだけ多くのこどもたちに、できるだけ多くのワークショップに参加してもらいたい」というイベント趣旨のもと「入場無料」にて開催して参りました。

イベント来場者数の増加に伴うワークショップ実施材料費用の負担軽減のため、昨年イベントでは、一部のワークショップにおいて参加者から直接「材料費」を徴収することを可能といたしましたが、前述のイベント趣旨のとおり、今回のイベントにおいても、原則、参加無料でのワークショップ実施をご検討頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

材料費の徴収を希望される方へ

「第 11 回ワークショップコレクション」においても、原則無料でのワークショップ実施をお願いさせて頂いておりますが、やむなく「材料費」の徴収を希望される方は、応募の際に徴収予定金額をお知らせください。
(今回の会場利用にあたっては「材料費」のみ徴収が認められています)

なお、「第 11 回ワークショップコレクション」においては材料費の範囲は**上限 500 円**とさせていただきます。

「材料費」徴収にあたっては、徴収作業、お金の管理など全て責任をもって出展者が行っていただきます。(主催者は参加者との金銭のやり取りに関与いたしません)

来場者との金銭トラブルを最大限回避できるよう、専用スタッフの配置など事前の計画をお願いいたします。

ワークショップ運営

参加者の呼び込みから受付、ワークショップの実施に至るまで、すべて責任をもって実施していただきます。原則、必要なスタッフ確保なども全て出展者が行ってください。また、例年のイベントではほとんどの出展ワークショップで順番待ちが発生しております（長いところで1～2時間待ち）。順番を待たれる来場者の整理・誘導も含めた実施計画をお願いいたします。

ルール1

- ① **ワークショップ参加希望者は自身の順番がくるまで順番に列に並んでお待ちいただきます。**
- ② **「整理券（配布型）」および「予約シート（記載型）」などを使用した参加者受付は禁止します。**

「来場者にとってのわかりやすさ」に配慮し、各ワークショップの受付方法は、全ワークショップにおいて「整理券」や「予約シート」を使用しない形で統一いたします。ワークショップ参加希望者は、各ワークショップ・ブースの前から順番に列になっていただき、自身の順番がくるまでお待ち頂く形といたします。ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

「整理券」「予約シート」を導入しない理由

- ・「整理券」や「予約シート」の発行・運用方針がワークショップごとに異なることにより、来場者の混乱を招く恐れがある
- ・朝早く来場した一部の参加者しか参加できなくなる恐れがある
- ・「整理券」「予約シート」の配布や受付の時間を待つための列が発生し、誘導が煩雑になってしまう

* 過去のイベントでは、禁止していた整理券発行を行ってしまったワークショップがあり、来場者の混乱を招きました。結果的に各ワークショップへのクレームに繋がりますので、くれぐれもご注意ください。

ルール2

「展示会」「博覧会」という趣旨のイベントであるため、原則、常時ワークショップが実施されているような運営計画をお願いいたします。休憩および昼食の際にも必ずスタッフ内でローテーションを組むなど、常時開催の状態となるよう事前のご計画をお願いいたします。

- * 来場者は期待をして各ワークショップの参加順番待ち列に並んで待っています。
過去のイベントで、ワークショップ参加希望者を列に並ばせたまま、突然休憩に入ってしまう出展者が見られました。来場者の混乱を招き、苦情に繋がりますので十分にご注意ください。

ルール 3

物販などの販売行為はすべて禁止とさせていただきます。
オフィスを会場として使用する際の条件ともなっておりますので、ご了承ください。

ルール 4

参加方式「随時参加方式 *1」「定員総入替方式 *2」を問わず、来場者にタイムスケジュールを提示しないでください。

- * 1 席がひとつ空いたら次の参加希望者1人を案内できる形式
- * 2 一斉に参加者全員が次の参加希望者と交代する形式

★タイムスケジュールの提示をしない理由

・提示した時間通りに運営がいかない場合、大きな混乱を招いてしまう

(過去のワークショップコレクションで、時間通りに運営がいかず、来場者の混乱を招いてしまうブースが見られました。)

・正確な待ち列人数のカウントが困難なため、来場者の大きな混乱、不満を招く恐れがある

(特に「定員総入替方式」ワークショップについては、タイムスケジュールを提示することで参加希望者から「自分がどの回に参加できるか」という質問を招くことになります。しかし、その質問に答えるためには、正確に参加希望者数をカウントすることが必要です。「順番待ち列」に並ぶのは、参加希望者(こども)だけではなく、その兄弟・保護者や付添いの方も一緒である場合が多く、トイレ等の理由により列を離れる人もおり、正確にカウントをすることは大変困難です。数え間違いにより、待ち時間が大幅に変わってしまうことがあり、来場者の苦情を招いた例が過去にみられました。)

以上の理由から、来場者の混乱を避けるため今回のイベントでは、タイムスケジュールの提示をしないこととしています。

施設利用について

メイン会場の新南平台東急ビル／渋谷TODビルは、2015年8月までオフィスとして利用されていたもので、取り壊しが決定している施設です。そのため「取り壊し前」の特性を生かしたワークショップの実施が可能です。（壁、窓、床、天井などを効果的に利活用するもの等／内容要調整）また、取り壊し前ビルの特性上、ブース内外における若干の会場汚れや、会場フロアには一部の残置物（大型ロッカー等）がございます。予めご了承をお願いいたします。（会場全フロアにおいて事務局が清掃業者と連携し事前クリーニング実施／会場設備面の安全対策も実施）

ワークショップ出展者の対応部分

- ◎ワークショップ実施に関する備品の搬入・搬出
- ◎ブースのレイアウト・全体設営
- ◎ブースの装飾作業
 - * 各ワークショップの説明資料・パネルやその他広報物を設置頂けます。
- ◎ケーブル等の養生 * 電源延長ケーブル、養生用テープとにもご持参ください。

インフラについて（電源／LAN 利用など）

■ 電源について

各ワークショップ出展者は教室内のコンセントを無料でご利用頂けます。電源容量は最大**1200W**です。電源容量超過の場合は仮設電源工事にかかる費用を出展者にご負担いただきます。

* コンセントからの延長ケーブル設置は原則として出展者をご持参ください。

* 電源容量は厳守ください。

■ LAN について

会場内では、インターネット環境は設置されておりませんので、ご注意ください。

* インターネット環境が必要なワークショップを実施予定の方は、ポケット Wi-Fi といった、個人の無線ルーターをご使用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

出展スペースでの広報物設置について

ワークショップ・ブースのスペース内においては、各ワークショップ出展者の活動に関する広報物をご自由に設置頂けます。ただし、「出展者名」として表記された方の活動に関するものに限ります。

【設置可能な広報物】

・「出展者」の活動に関する各種チラシ、パンフレット、ポスターやパネルなど

【設置不可能な広報物】

・「出展者名」に表記されていない方の広報物（協賛社、関係者の活動に関するもの）

*7 ページ「共同出展の際の注意事項」も合わせてご確認ください。

販売行為の禁止について

物販などの販売行為はすべて禁止とさせていただきます。ご了承ください。

他のワークショップとの 併設にあたっての留意 事項

同一スペース内に複数個のワークショップブースが併催されます。他のワークショップの実施の妨げにならないよう、最大限の配慮をお願いいたします。隣接するブース間の調整は、可能な限り運営スタッフ（フロア担当スタッフ）が行いますが、出展者同士の話し合いをもって解決できる、細かい調整事項に関しては、各自での調整をお願いいたします。

<音響（BGM / マイク / 生演奏 / LIVE）>

BGM、マイク、生演奏、LIVE といった、他のワークショップへの影響が考えられる要素につきましては、極力お控えください。ワークショップの特性上、どうしても必要な場合、事務局へご相談ください。

<室内照明の ON / OFF >

同一部屋内での併催の関係上、部屋全体を暗くすることは原則としてできません。ワークショップの特性上、どうしても必要な場合、事務局へご相談ください。

<ブースレイアウト / 装飾>

他ワークショップの運営・実施の妨げになるようなブースレイアウト / 装飾はお控えください。

その他留意事項

■危険防止（搬入・搬出・設営）

搬入・搬出・設営に際しては、細心の注意を払い事故防止に努めてください。

また、多数のこどもが来場することを鑑み、ブース設置物（備品・機材）やブースの安全管理に努めてください。

補足情報（第 10 回ワークショップコレクション実施データより）

こども来場者の傾向に ついて

こども来場者の学年の割合は以下の通りです。

* あくまで昨年のデータの統計です。今年度イベントの参加者の割合を示すものではありません。

* ほとんどが保護者同伴でのご来場となります。

◎未就学児	・・・約 31%	◎小学低学年～中学年	・・・約 52%
◎小学校高学年	・・・約 12%	◎中学生以上	・・・約 5%

ワークショップ 1 日あた りの参加者数

1 日あたりの参加者数は、以下のとおりです。今年度でもできるだけ多くのこどもたちが、できるだけ多くのワークショップに参加できるよう、実施運営のご協力をよろしくお願いいたします。

◎ 1 日参加者数 合計（7 時間）・・・約 100 ～ 300 人

* ワークショップ内容・形式により差があります。

※「応募締切が5月7日(木)に変更となりました」(4月13日改訂)

応募受付期間

2015年3月25日(水)～~~4月26日(日)~~ 15:00 締切
5月7日(木)

*~~4月25日(土)~~ までに必ず「応募者登録」を済ませてください。
5月6日(水)

応募方法

出展をご希望の方は、下記「応募までの流れ」「応募必要情報」「応募提出物」をご確認の上、**ワークショップコレクション11 出展者募集ページ** (http://wsc.or.jp/wsc11th_bosyuyoko) よりフォームにてお申し込みください。なお、今年度より応募方法が一部変更となりましたので、出展経験がおりの方も改めてご確認をお願いいたします。

応募までの流れ

1. 応募者登録
(フォーム)

ワークショップコレクション公式ウェブサイト (<http://www.wsc.or.jp>) より、出展者募集ページの「個人情報お取り扱いご確認後、フォームにお進みいただき、必要事項をご記入ください。

「応募者登録」を行った方のみ「ワークショップエントリー」ができます。登録をして頂いた方には、イベントに関する最新情報や応募にあたっての留意事項、ポイント、べ切りマインドなどのメールをお送りさせていただきます。

★「応募者登録」のべ切りは5/6(水)です。応募をお考えの方は、お早めに「応募者登録」をお済ませください。

2. ワークショップ
エントリー (フォーム)

「応募者登録」を済ませた方に、「ワークショップエントリー」用フォームの URL をお知らせいたします。

そちらに応募ワークショップの情報を詳しくご記入ください。ワークショップエントリーでは、記入事項が多いため予め必要情報・イメージ写真をご用意ください。記入事項について詳しくは次ページの「応募必要情報」「応募提出物」をご確認ください。

3. 出展料減額申請
※任意 (フォーム)

(任意) ご希望の方のみ申請ください。

ワークショップエントリー後、自動返信メールが届きます。自動返信メールに記載される出展料減額申請用フォーム URL をお知らせいたします。そちらに情報を詳しくご記入ください。詳しくは次ページの「その他ご提出物」をご確認ください。

4. 受付完了

事務局より受付完了通知メールが届き、応募完了となります。審査の通知は5月下旬を予定しております。

応募必要情報

ワークショップエントリーの際に必要な情報になります。

以下の情報をご用意の上で応募ください。フォームの記入に時間がかかると、画面がタイムアウトしてしまう場合がございますので、メモ帳などを使って予め回答を作成しておき、フォーム入力時に入力欄へ情報を貼付けてご利用いただくと便利です。

- ・ワークショップ出展者名（34 字以内）
 - * 連名の場合：構成団体、組織概要
- ・ワークショップ名（40 字以内）
- ・ワークショップ概要（500 字程度）
 - 内容概要、進行手順など、できるだけわかりやすく説明したテキストなど
- ・アピールポイント（500 字程度）
- ・所要時間 * 最長 30 分とします。
- ・参加者定員 * 出展スペース（25㎡）内での「同時受け入れ可能人数」をご記載ください
- ・対象年齢 □才～□才（保護者同伴であれば□才から参加可能）
 - * 子どもが単独で参加する場合の年齢を記載ください
 - * 大人もワークショップに参加可能な場合は「□（才）-」と記載ください
（例：5才～大人までの場合 ⇒ 5-）
（例：5才～9才までの場合 ⇒ 5-9）
 - *（ ）内には、「保護者」一緒に参加することで、最小対象年齢が下げられる場合は、その年齢を記載ください。
- ・作品の持ち帰りの有無
- ・当日のスタッフ想定人数（一日あたり）
- ・参加者からの材料徴収の有無
- ・材料徴収がある場合の金額 * 上限 500 円まで
- ・材料徴収費「あり」をお選びのかた 「材料」の詳細

応募提出物

ワークショップエントリーの際に必要な情報になります。
以下の提出物をご準備の上、ワークショップエントリーへお進みください。

■写真 2 枚（必須）

ワークショップのイメージ（過去ワークショップ記録写真や、ワークショップを象徴するもの等）として写真 2 枚をご準備ください。

- ・サイズ： 800×417px 以上
- ・向き： ヨコ
- ・解像度： 72dpi 以上
- ・データサイズ： 2 枚で 10MB 以下
- ・提出方法： ワークショップエントリーフォームにてアップロード下さい

- * ご提出頂いた画像は、ワークショップコレクション運営事務局が発表するプレスリリースや Web サイト、その他告知媒体などで使用させていただきます。
- * 写真は、公表が前提となりますので、肖像権等の権利関係をクリアにした上でご提出願います。
- * 画像形式（JPEG など）のデータによるご提出に、ご協力をお願いします。なお、できるだけ解像度が高いデータをご提示ください。

■実施ワークショップ内容に関する補足資料（任意）

ワークショップエントリーとは別に、応募ワークショップの内容詳細に関する補足資料（企画書など）をご提出頂けます。審査の際の参考とさせていただきます。また、ご郵送頂いた場合、資料のご返却はいたしかねますので、ご注意願います。

- ・形式：PDF 形式
- ・サイズ：5MB 以下
- ・提出方法：メールにて事務局（info-wsc@canvas.ws）までお送りください

その他ご提出物

■出展料減額申請（任意）

出展料減額の申請を行う場合は、ワークショップエントリー後に送られる自動返信メールに案内される「出展料減額申請フォーム」に必要事項をご記入いただきます。以下の情報をご準備の上、申請フォームにて申請ください。

- * 減額申請対象については、P06 をご確認ください。
- * 減額対象者でない場合、申請をいただいても減額にはなりませんのでご注意ください。

【出展料減額申請に必要な情報】

- * 個人でご応募の方は、「活動趣旨」「活動実績」等、一部の項目にご回答いただきます。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ・ 設立年度 | ・ 法人格の有無（有の場合、取得年月） |
| ・ 主な役員氏名（役職・氏名） | ・ 役員数 |
| ・ 活動趣旨・目的 | ・ 活動概要 |
| ・ 2013 年度活動実績（500 字まで） | |
| ・ 2014 年度活動実績（500 字まで） | |
| ・ 申請理由（500 字まで） | |

- * 活動実績について資料があります場合、データでの提出も可能です。

- ・形式：PDF 形式
- ・サイズ：5MB 以下
- ・提出方法：メールにて事務局（info-wsc@canvas.ws）までお送りください

審査基準

1. 応募要項（本要項の第3項 P.05）に則っているかどうか
2. ワークショップ内容の独自性、話題性、新規性

審査日

5月中旬

* 審査後、5月下旬には、応募者全員に審査結果をメールにてご連絡いたします。

審査員

* 審査員は全員 CANVAS 役員・評議員で構成されています。

中村伊知哉	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授
山内祐平	東京大学大学院情報学環准教授
今井賢一	スタンフォード大学名誉シニアフェロー／一橋大学名誉教授
遠藤由紀子	奥野総合法律事務所・外国法共同事業
清水康敬	東京工業大学監事（常勤）・名誉教授
渡部洋	東京大学名誉教授
上沼紫野	弁護士・ニューヨーク州弁護士 虎ノ門南法律事務所所属
椎名出	税理士法人椎名会計 税理士
菊池尚人	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 准教授
新井健一	ベネッセ教育総合研究所 理事長
長田敦	東京フィールド法律事務所パートナー弁護士
金村公一	長崎県立大学大学院准教授
川原和彦	株式会社博報堂
川村たつる	デザイナー／法政大学非常勤講師
田島正広	田島総合法律事務所弁護士
田中裕幸	田中法律会計税務事務所弁護士
谷井玲	株式会社アール・ティー・エム 取締役会長
田村拓	(株)CSK サービスウェア 取締役 常務執行役員
鶴谷武親	フューチャーインスティテュート株式会社代表取締役社長
吉岡伸	株式会社乃村工藝社
渡辺康生	株式会社 FCE エデュケーション 戦略企画部長

***応募受付締切の変更に伴い、一部スケジュールが変更になっております。
(4月13日改訂)**

参加申込から当日までの流れ

- ① 応募受付 応募者登録 *5月6日(水)まで
ワークショップエントリー *5月7日(木) 15:00 まで
- ② 審査・結果通知 5月中旬～下旬
- ③ 「告知媒体への掲載情報」の提出 6月上旬
- ④ 会場仮レイアウト決定 6月上旬
- ⑤ 会場下見会実施 6月中旬～6月下旬
- ⑥ 会場レイアウト決定 7月上旬
- ⑦ 「搬入出・設営関連情報」の提出 8月上旬
- ⑧ 前日 設営作業 8月28日(金)
- ⑨ 当日 8月29日(土)・30日(日) (撤収も2日目終了後同日にて)

お願い事項： イベント運営事務局と の事前調整

出展者の皆さまとイベント運営事務局との連絡調整に関しては、基本的に E-mail で行います。ワークショップ当日までイベント運営事務局からのメールはこまめに確認してください(情報連絡用のメーリングリストにご参加いただきます)。また、出展にあたり諸々の確認依頼や提出物等が、頻繁に発生いたします。その都度、早期の回答にご協力ください。回答期限を設定させて頂く場合もございますので、その際は厳守にてお願いいたします。

第1回 ワークショップ コレクション	開催日時：2004年1月25日（日） 14：00～19：00 *1日のみ 開催場所：ザ・トウキョウレストラン ワークショップ数：13 参加者：500人
第2回 ワークショップ コレクション	開催日時：2005年1月22（土） 13：00～17：00 / 23（日） 11：00～17：00 開催場所：日本科学未来館 ワークショップ数：15 参加者： 1,500人
第3回 ワークショップ コレクション	開催日時：2006年3月11日（土） 11:00～18:00 / 12日（日） 11:00～18:00 開催場所：秋葉原ダイビル2F-秋葉原コンベンションホール/学びと創造の場 F・デジタルハリウッド大学 ワークショップ数：20 参加者：2,500人
第4回 ワークショップ コレクション	開催日時：2007年6月30日（土） 11：00～18：00 / 7月1日（日） 11：00～18：00 開催場所：慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎1～3F ワークショップ数：34 参加者：6,500人
第5回 ワークショップ コレクション	開催日時：2008年10月12日（日） 11:00～17:00 / 13日（月・祝） 10:00～17:00 開催場所：慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎および第一校舎 ワークショップ数：70 参加者：10,000人
第6回 ワークショップ コレクション	開催日時：2010年2月27日（土） 11：00～17：00 / 28日（日） 10：00～17：00 開催場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 第4校舎独立館 および 第4校舎 ワークショップ数：80 参加者：35,000人
第7回 ワークショップ コレクション	開催日時：2011年2月26日（土） 11：00～17：00 / 27日（日） 10：00～17：00 開催場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 第4校舎独立館 および 第4校舎 ワークショップ数：87 参加者：65,000人
第8回 ワークショップ コレクション	開催日時：2012年2月25日（土） 11：00～17：00 / 26日（日） 10：00～17：00 開催場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 第4校舎独立館 および 第4校舎 ワークショップ数：99 参加者：74,000人
第9回 ワークショップ コレクション	開催日時：2013年3月9日（土） 11：00～17：00 / 10日（日） 10：00～17：00 開催場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 第4校舎独立館 および 第4校舎 ワークショップ数：100 参加者：100,000人
第10回 ワークショップ コレクション	開催日時：2014年8月29日（金） 11：00～17：00 / 30日（土） 10：00～17：00 開催場所：青山学院大学 青山キャンパス 17号館 および 1号館 ワークショップ数：105 参加者：57,000人 * 同日に実施した企画「クリエイティブキッズデイ」は全国150ワークショップが連動 約20,000人の親子が参加

NPO 法人 CANVAS

CANVAS は、こどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として設立されたNPOです。これまでおよそ35万人のこどもたちにワークショップに参加いただきました。こどもたちに新しい表現を生み出してほしい、新しい世の中を築いてほしい。そんな願いを叶えるため、産官学さまざまなプレイヤーのみなさまと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。

ホームページ： <http://www.canvas.ws>